

「ちょっと押して」車イスヒッチハイクで日本全国の旅 元車イス芸人で元車イスホストの挑戦

SNSが登場して、
みんな当たり前のように「いいね！」を押すようになりました。

でも思います。ふだんの生活の中で、
家族に、学校の人に、職場の人に、誰かの背中を押せているでしょうか。
目の前で困っている人や、助けが必要な人がいた時に、
手助けできているでしょうか。

ダイバーシティの考え方は広まってきているけれど、
すべての人が、
もっと気軽に「助けて」と言えて、
もっと気軽に「後押し」できる世の中にできたら。
「HELP」と「PUSH」がたくさん飛び交う世の中。
それはとっってもすこやかで、気持ちいい社会のはずです。

HELP×PUSHで、HELPUSH（ヘルプッシュ）プロジェクト。
日本全国の道行く方たちに、
「車イスを押してください」と声をかけ押ししてもらい、
車イスヒッチハイクで訪れ、みんなのヘルプッシュで旅をします。
動きはじめたのは、車イス芸人として活動後、
歌舞伎町のホストクラブに勤めた経験のある寺田ユースケ。
聖火リレーのように、ヘルプッシュリレーで、
たくさんの人たちに背中を押ししてもらいゴールを目指します。
スタートは、新国立競技場前から。ゴールは、47都道府県、すべての地を踏むまで。
そのリアルな道中をスマホから随時中継していきます。



HELPUSHプロジェクト
車イスヒッチハイクの旅
～みんなのリアル後押しで日本全国いけるかな?～

日本全国の道行く方たちに、
「車イスを押してください」と声をかけ押ししてもらい、
車イスヒッチハイクで訪れ、みんなのヘルプッシュで旅をします。
聖火リレーのように、ヘルプッシュリレーで、
たくさんの人たちに背中を押ししてもらい47都道府県を廻ります。

■期間

- ・2017年4月22日～2019年4月予定（約2年間）
- ・スタート日 2017年4月22日（土）正午12:00ころ @大江戸線 国立競技場駅前
- ・冬季（11月、12月、1月、2月）旅はお休み予定。（スケジュールは旅の進行具合をみてフレキシブルに対応。）
- ・1ヶ月のうち約21日間を旅し、10日間程、都内に戻り仕事をしながら進める。
- ・1都道府県当たり7日間（内訳：観光地訪問など3日間、体調管理2日間、移動2日間）

■主な内容

- ・自走（押しってもらう人を見つけるため）。
 - ・人をヒッチハイク（押ししてもらい）進む。車をヒッチハイク。電車、バスなど公共交通機関を使用する場合は、人をヒッチハイクしてから一緒に乗車であれば可能。
- ※一時帰京する際、単独使用可能。（他の仕事への弊害が出てしまう恐れがあるため。）

- ・スマホアプリ「LINELIVE」にて旅の様態を生配信。
- ・YouTubeチャンネルにて、旅の様態、毎日日記を配信。
- ・インスタグラムにて、ウィルチェアフォト（車イス目線からの写真）などの配信。
- ・車イススピーカーより、スペシャルサポーター清貴さんの歌を流す。

■旅のルート（予定）

※道行く人に声をかけて進むヒッチハイクの旅となるので厳密な予定は立てられないのですが、予定としては以下のような形です。

第1弾 中部地方（～7月中旬 愛知県ゴール予定）

国立競技場前（スタート）→山梨 4/30（日）→長野 4/30（日）～5/6（土）→新潟 5/7（日）～5/13（土）→富山 5/14（日）～5/20（土）→東京（一時帰京） 5/21（日）～5/28（日）※うち1日は、報告会→5/29（月）再出発！



HELPUSH コンセプト

HELP（助けて）×PUSH（後押し）で、HELPUSH（ヘルプッシュ）。

ダイバーシティの考え方は広まってきているけれど、
すべての人が、
もっと気軽に「助けて」と言えて、
もっと気軽に「後押し」できる世の中にできたら。

私は、車イスユーザーですが、手すりに捕まれば階段を登れます。
駅員さんに10m先にある階段を登りたいので、
車イスを運ぶのを「手伝ってください」と頼んだら、
「そこは駅の管轄の範囲外なので手伝えません」と言われました。

虚しく友人に愚痴をこぼしたら、
「そんなの道行く人にちょっと助けて貰えば良かったじゃん！」
と言われた経験から「ちょっと助けて」と言えない自分に気がつきました。

それと同時に、障がいを持って生きることで、親しい人になればなるほど、
ちょっと助けてもらうのが当たり前となり、
感謝の気持ちが気づかぬうちに薄まっていることに気がつきました。

そんな気づきで周りの生活を見直すと、
私の周りには「ヒーロー」がたくさんいました。
いつもそのヒーローたちは後押ししてくれるときに、笑顔でした。

このHELPUSHプロジェクトを通して、
全国のヒーローたちの力をお借りして、昔からの夢であった日本全国各地へ旅します。

「夢」への探求と「感謝」を感じる旅を目指したいと思います。

HELPUSH普及委員会
実行者（代表） 寺田ユースケ



旅最中の写真



山梨県の昇仙峡にて。お土産屋のみなさんと。

(左写真) 旅で使っている車イス

中央にスマホとマイク。

右手にタブレット。

左手にビデオカメラ。

車イス後部にスピーカーあり。

車イス目線の動画を撮るのに使用している。



4/22 (土) 新国立競技場前にてスタート。見送りに来てくれた HELPUSH普及委員メンバーと。



東京から山梨へ向かう最中に押して貰った二人と。





山梨県の昇仙峡のお土産屋の皆様と。



ホテルの朝食バイキングで知り合った
ご夫婦と富士山へ。



宿泊先の温浴施設のスタッフ
さんに観光に連れて行って貰
うも、車イスが車に入らず、
分解して乗せる事に成功。



プロフィール

寺田ユースケ (HELPPUSHプロジェクト 車イスヒッチハイクの旅実行者, 代表)



1990年 愛知県生まれ。関西学院大学 社会学部卒

生まれつきの脳性マヒがあり、足が不自由のため車イスを使って生活している。19歳までは、足を引きづりながら生活しており性格も内気であった。20歳のとき、車イスに乗ることを決意する。すると、車イスに乗ったことによって、どこにでも行けるようになり、性格も前向きになる。寺田にとって車イスはまるで「かぼちゃの馬車」のようであった。

大学在学中にイギリスに単身で1年間留学する。在学中によしもと大阪NSC36期生となる。大学卒業後に上京するも、お笑い芸人を挫折。その後、まだ人と話す仕事がしたいと考えていた矢先に、ホストという職業に社会的意義を持たせ、社会から必要とされる仕事にしようと奮闘している手塚マキに感銘を受け、歌舞伎町ホストクラブ Smappa!Group「APiTS」で『お酒の飲めない。終電で帰るホスト(源氏名)クララ』として働く。その後、車イスの自分を受け入れてくれた仲間たちに恩返しをするために、同社のオフィスで働く。

また、渋谷のラジオにて、性別、年齢、国籍、障がい問わず全部笑い飛ばしちゃえ！がコンセプトの「1億総笑える部」(毎月第1日曜21:00~22:00)にてパーソナリティを務める。

そして2017年4月から、車イスで生活している自身の経験から、『すべての人が、もっと気軽に「助けて」と言えて、もっと気軽に「後押し」できる世の中にできたら』というコンセプトのHELP×PUSHで、HELPPUSH(ヘルプッシュ)の活動を開始。HELPPUSH普及委員会を設立し、道行く方々に「ちょっと車イスを押してください！」と声をかけ旅をする車イスヒッチハイクで日本全国を駆け回る。



HELPUSH

HELPUSH普及委員会

- ・実行者 寺田ユースケ
- ・補佐 黒住 宗芳
- ・アドバイザー/プロデューサー 寺尾 聖一郎
- ・アドバイザー コンセプト/ロゴデザイン 外所 一石
- ・コピーライター 阿部 広太郎
- ・ロゴデザイン Keiko Akatsuka
- ・楽曲提供 清貴
- ・動画スペシャリスト 鶴岡 洋志、山田 耕三
- ・ホームページ制作など 園田 真弓
- ・動画編集担当 RYOKO NAKAJIMA
- ・総務 園田 真弓、桜 悠聖、正木久美子

車イス制作協力または、旅のサポート

- ・日進医療器株式会社 様
- ・株式会社カラーマーク 様
- ・アーストレック株式会社 様
- ・三井温熱株式会社 様



SNS配信

instagram: @helpush_story

twitter: @HELPUISH_STORY

LINELIVE: HELPUSH 車イスヒッチハイクの旅

YouTube: HELPUSH CHANNEL

Facebook ページ: HELPUSH

WEB : helpush.com

メディア掲載

- ・ BuzzFeed NEWS

https://www.buzzfeed.com/akikokobayashi/helpush?utm_term=.tkG4nbLjK#.rmqwJydaR

- ・ Yahoo!ニュース

<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20170424-00010000-bfj-soci>

《お問い合わせ先》

HELPUSH普及委員会

担当者：寺田, 園田

連絡先メールアドレス：info@helpush.com

連絡先電話番号：09091274669（なるべくメールでご連絡頂きますと幸いです。）

Webサイト：helpush.com

